

会 議 録

1 会議の名称	令和 6 年度 第 1 回越前市下水道事業推進対策協議会
2 開催日時	令和 6 年 5 月 3 0 日（木曜日） 午後 3 時～午後 4 時
3 開催場所	越前市水循環センター 会議室
4 出席委員氏名	奥村会長 横住副会長 禿委員 門前委員 加藤委員 牧井委員 片山委員 小竹委員 大塚委員 眞柄委員 磯野委員 以上 11 名
5 欠席委員氏名	水上委員
6 事務局職員職氏名	建設部 松村部長 山田理事 上下水道課 兵課長 市村浄化センター所長 小谷副課長 齊藤副課長 木下 GL 和田 GL 今井主査 原主事 経営戦略改定業務受託者 (株)三水コンサルタント 見須奈氏 松田氏 (税)合同経営会計事務所 中津氏 谷崎氏
7 会議議題	(1) 越前市下水道事業経営戦略の改定について (2) 今後のスケジュールについて
8 傍聴者の数	なし
9 会議資料の名称	令和 6 年度 第 1 回 越前市下水道事業推進対策協議会 資料
10 会議の内容の要旨	下水道事業経営戦略改定について資料に基づき改定の必要性、策定要件等について説明し、質疑応答を行った。 議題 1 越前市下水道事業経営戦略改定について 質問 戸別公共浄化槽とは何かを教えてほしい。また、水洗化率は 100%になるものではないのか。 回答 戸別公共浄化槽とは、人家がまばらの区域（浄化槽区域）に設置している公共の浄化槽のことである。当時浄化槽区域の住宅に設置したが、宅内排水設備に繋げていない家が 10%程度存在している。排水設備への接続には費用がかかるため、市から接続のお願いしているが接続には至っていない。 質問 令和 4 年度にて人口が減少しているのに、使用料が上がっているのは何が要因なのか。 回答 令和 5 年 1 月の大寒波の影響により、かなりの漏水が発生したことで上水道の使用料が増加し、それに比例して下水道の使用料も増加した。減免の対象になる場合もあるが、使用者責任ということでならないケースもあるため、結果的に使用料増加となった。 質問 経費回収率について、資料の 30 頁に記載の「平均値」とはなんの平均値か。 回答 経費回収率のグラフは総務省へ報告し、総務省のホームページに記載されているグラフ

である。平均値は市と同規模の類似団体の平均値が表示されており、右上の数字は全国平均値である。越前市は類似団体と比較すると低い数値となっている。

質問 使用料の料金体系について教えてほしい。

回答 20 m³までは基本使用料の 2,420 円、それ以上は従量によって加算されていく料金体系となっている。

質問 経費回収率 100%を目指すにあたって、料金値上げを目的としているのか。単に料金値上げだけでなく、既存の資産を有効活用して下水道使用料以外の収益を得たり、経費を削減するなどの対策が必要なのではないか。

回答 単に使用料改定が目的ではなく、コスト削減も当然考えながらあらゆる経費回収率の方法を探っていく。国交省が提示している「経費回収率向上のためのロードマップ」では、経営戦略にて経費回収率を向上させるための対策の記載が必要になっているため、協議会の意見を参考に取組んでいきたい。

質問 消化ガスは売却しているのか。

回答 消化ガスについては発電機を回しており、売却収入を得て、かつ、家久浄化センターでも使用している。これまで組合でし尿や浄化槽汚泥を処理していたが、ポンプで家久浄化センターへ送って一緒に処理をする方法を今年の 4 月から実施しており、経費削減に繋がっている。太陽光発電については、現在、施設の耐震診断中のため検討段階である。

議題 2 今後のスケジュールについて

事務局より、今後の協議会開催日程案について説明を行った。

●令和 6 年度第 1 回下水道事業経営戦略策定検討部会は令和 6 年 7 月上旬に開催することとし、委員の了承を得た。